

令和2年度 当別町子ども発達支援センター保護者評価の結果について

お忙しい中、保護者の皆様には、アンケートのご協力ありがとうございました。次年度のセンターの指導等の充実に向けての方向性をお知らせいたします。

【評価対象事業】

- ・放課後等デイサービス

【調査機関】

- ・令和2年12月7日～令和3年1月15日

【調査対象者】

- ・当別町子ども発達支援センター利用保護者

【回答率】

- ・配布数：9世帯 回収数：5世帯 回収率56%
- ・回答を分析し次年度の改善に反映してまいります。

【評価】

- ・概ね高い評価をいただいております。
- ・放課後等児童クラブ等との交流を行い、障がいのない子どもと活動する機会があるかにつきましては、「行っていない」という回答はなく、学校や家庭で障がいのあるなしに関わらず、一緒に活動したり遊んでいるという意見でした。
- ・保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているかにつきましては、全員「どちらともいえない」の回答でした。コロナウイルス感染症の影響により、中止は仕方がないですというご意見がありました。

【課題】

- ・高い評価を受けている項目は、現状に満足することなく、さらなる向上に努めることが必要。
- ・中止となった活動については、次年度の感染症の状況を配慮した内容、方法等の検討が必要。

【今後に向けて】

- ・高い評価を受けている項目に関しては、今後も維持向上に努めます。また、職員全体の技術向上の為、次年度は、指導員は北海道通園センター連絡協議会主催の発達についての研修を2回、臨床発達心理士及び北海道立子ども総合医療・療育センターの医師等による専門的な技術支援等を8回、感染症や虐待、相談支援に関する研修等各1回以上、随時研修会、学習会の案内があれば参加する予定です。
- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等の周知につきましては、次年度も、現在の掲示方法のほか、保護者交流会や個別の懇談会、個別指導時

等で説明させていただきます。また、訓練等が実施されているかの質問に対し、「参加していません」というご意見がありましたので、今年度参加していないグループは次年度参加できるように計画し、保護者を対象とした救命救急、子どもの誤飲やケガの応急処置等の訓練を予定しています。

- 保護者同士の連携支援につきましては、コロナウイルス感染症対策を徹底し、3月中に、年長児、学童の保護者を対象とした学習会を予定しています。次年度は、感染症の状況に配慮し検討します。
- 今後も、コロナウイルス感染症防止のため、保護者の皆様には継続してご協力をお願いしたいと考えています。